

六百キロへの道

目標だったベスト16.

惜しくも届かず

去る九月十一日より秋季大会予選、十月八日より本戦が行われました。今大会は昨年に引き続き本戦出場を決めるも、目標としていたベスト16には届きませんでした。今大会で得た悔しさをバネに春季大会に向けてチーム一丸となって冬の間頑張り張っていきます。

初回到菊池のHで先制。その後、三回には三点を追加。四回、先頭福塚が三塁打で出塁し、ランナーをため三点を追加するも、その裏に二点を返される。だが、五回には二点、六回には一点を取るもまたその裏には二つのEにより三失点。八回には菊池の三塁打などで三点を追加し勝利を収めた。

2021.11.09

東大和南高校
硬式野球部発行

編集
佐藤 拓海 鳴井 優音
本間 留衣 蛭田 唯心
山田 野乃

私立 武蔵	1	3	0	0	0	0	0	4
東大 和南	0	1	7	0	0	0	3X	11

初回到二本のHにBが絡み一点を先制される。二回にも二つのEとBにより三点を追加される。三回には中島の二塁打から始まり、藤本、田中、村上、栗田、橋本のHにEが絡み、一挙七得点。守っては田中の好投で三回以降無失策、無失点で勝利。

二回戦では好投だった田中を投入するも初回から五点を先制される。その後、二回、三回には合計六失点。打撃では田中、藤本が出塁したが得点できない。四回には三者凡退無失点で抑えるもシード校の攻撃力の前にコールド負けを喫した。



主将より

二年 菊池 颯人

二松学舎と対戦できたということが自分たちにとって大きく影響を与えてくれた。また今回の秋大で課題が多く見つかった。簡単なゴロでのミス、連携のミスなど改善するべきところは大きいにある。そのような中でも打撃において初球から臆することなく振って積極的な攻撃ができたことは今大会での収穫になった。この冬で更に磨きをかけていきたい。また、基礎力の向上に努め、どんな場面でも落ち着いたプレーができるような固い守備を作りたい。そして春に今よりもっと進化した東大和南の野球を見せたい。



伝言板

秋季大会では、保護者の方々、OBやOGの方などほかにも多くの方からたくさんのご協力や応援をいただきました。また、大会当日にはゼリーやスポーツ飲料の差し入れをいただきました。この場をお借りして、部員一同厚く御礼申し上げます。

東大和南	1	0	3	2	1	0	3	12
農業・五日 市・南多摩 中等・八王 子桑志	0	0	2	0	3	0	0	5

東大和南	0	0	0	0	0	0
二松学舎	5	3	3	0	X	11